

6 / 4 (火) の発表

報道発表資料の配付日時 6 / 4 (火) 15時00分

発表項目	感染性胃腸炎患者の発生について (速報) 腸管出血性大腸菌感染症患者発生について (週報)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
	月 日 () 時 分～	発表場所	
概要	別紙のとおり ■ 速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について速報するもの) 岩見沢保健所 保育所 36名 ノロ ……別紙1 留萌保健所 保育所 19名 ノロ ……別紙2 釧路保健所 保育所 19名 ノロ ……別紙3 ■ 週報 (腸管出血性大腸菌感染症の発生について速報するもの) 富良野、帯広保健所 ……別紙4		
参考			

報道 (取材) に当たっての お願い	本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。	
他のクラブ との関係	(同時配付) 同時レク	(場所) 岩見沢、留萌、釧路、富良野、帯広保健所

担当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当: 角) 電話 (代表) 011-231-4111 (内線25-506) (ダイヤル) 011-204-5253
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年（2019年）6月4日（火）15時00分

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL：011-231-4111（内線：25-506）

FAX：011-232-2013

令和元年（2019年）6月3日（月）、岩見沢保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

令和元年（2019年）5月31日（金）に、岩見沢保健所管内の保育所から複数の園児及び職員が胃腸炎症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

岩見沢保健所管内の保育所の園児34名及び職員2名の計36名が、5月21日（火）～5月31日（金）にかけて、おう吐、下痢、発熱などの症状を呈し、うち14名が医療機関を受診し治療を受けた。（入院した者はいない。）

3 現在の状況

6月4日（火）現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

5月21日（火）～5月31日（金）

5月31日（金）

5月22日（水）～5月31日（金）

おう吐、下痢、発熱などの有症者発生

保育所から保健所に通報

医療機関において有症者14名の便を検査した

結果、3名からノロウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

岩見沢保健所では、当該保育所に対し、患者及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、岩見沢保健所においても、資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中して発生するが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）

潜 伏 期 間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況（ロタウイルス除く） 6月4日（火）現在】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
件数（件）	206	210	138	150	179	182	148	94
有症者数（人）	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	3,019	1,976

*政令市（札幌市を除く）保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センター

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年(2019年)6月4日(火)15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
TEL:011-231-4111(内線:25-506)
FAX:011-232-2013

令和元年(2019年)6月3日(月)、留萌保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者の発生を確認しました。

記

- 1 発生の探知
令和元年(2019年)5月31日(金)に、留萌保健所管内の保育所から、園児が胃腸炎症状を呈している旨、同保健所に通報があった。
- 2 発生の概要
留萌保健所管内の保育所の園児19名が、5月30日(木)から6月2日(月)にかけて、おう吐、下痢、発熱等の症状を呈し、うち13名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)
- 3 現在の状況
6月4日(火)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
- 4 経過
5月30日(木)～6月2日(日) おう吐、下痢、発熱等の有症者発生
5月31日(金) 保育所から保健所に通報
6月3日(月) 保健所において有症者のうち4名の便を検査した結果、結果、4名全員からノロウイルスを確認
- 5 感染経路
現在調査中
- 6 対応
留萌保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。
- 7 その他
この件については、本日15時00分、留萌保健所においても、資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜 伏 期 間：24～48時間

経 過・予 後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況(ノロウイルス除く) 6月4日(火)現在】

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
件数(件)	206	210	138	150	179	182	137	94
有症者数(人)	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	1,976

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和元年(2019年)6月4日(火) 15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)

FAX: 011-232-2013

令和元年(2019年)6月3日(月)、釧路保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

- 探知**
令和元年(2019年)5月31日(金)に、釧路保健所管内の保育所から、複数の園児及び職員がおう吐、腹痛、発熱などの症状を呈している旨、保健所に通報があった。
- 発生の概要**
釧路保健所管内の保育所の園児16名及び職員3名の計19名が、5月28日(火)から6月2日(日)にかけて、おう吐、腹痛、発熱などの症状を呈し、うち15名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)
- 現在の症状**
6月4日(火)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
- 経過**
5月28日(火)～6月2日(日) おう吐、腹痛、発熱などの有症者発生
5月31日(金) 保育所から保健所に通報
6月3日(月) 保健所において、有症者のうち6名の便を検査した結果、6名全員からノロウイルスを確認
- 感染経路**
現在調査中
- 対応**
釧路保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。
- その他**
この件については、本日15時00分、釧路保健所においても、資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、発熱(軽度)、下痢

潜伏期間：24～48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況(ロタウイルス除く) 6月4日(火)現在】

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
件数(件)	206	210	138	150	179	182	137	94
有症者数(人)	4,987	4,878	3,004	3,638	4,465	4,341	2,849	1,976

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和元年（2019年）6月4日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
 TEL 011-231-4111(内線:25-506)
 FAX 011-232-2013

令和元年（2019年）22週（5月27日（月）～6月2日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ペロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

記

1 発生の概要

保健所	区分	性別等	発症日 及び主な症状	受診日	保健所 受理日	現在の状況	備考
富良野	患者 (O157)	女性 (80歳代)	5月27日(月) 下痢、腹痛 血便	5月29日 (水)	5月31日 (金)	入院中である が、快方に向か っている。	—
帯広	患者 (O26)	男性 (幼児)	5月23日(木) 下痢	5月23日 (木)	5月29日 (水)	快方に向かっ ている。(入院は していない。)	—

2 対応

- ・ 家族等の健康調査及び便検査
- ・ 患者及び家族等の喫食調査
- ・ 家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3 その他

この件については、本日15時00分、管轄保健所においても資料配付を行っています。
 <報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

〔参考〕 腸管出血性大腸菌感染者の道内における発生状況（2019年）

6月2日（日）現在

区 分	1	8	25	26	74	91	103	111	115	121	128	136	145	146	148	157	165	不明	合計
患 者				2		1	1									13			17
無症状病原体保有者				1	1	6	1				1					1		2	13
計				3	1	7	2				1					14		2	30

(単位：人)

*政令市（札幌市・函館市・小樽市・旭川市）及び本日発表分を含む。

*全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)